

様式 2

| |
|-----|
| 教 科 |
| 国 語 |

| |
|-----|
| 種 目 |
| 国 語 |

| |
|-------|
| 発 行 者 |
| 学校図書 |

| 調査項目 | 意 見 |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・教材の選択や再構成が可能な配列を取り入れるなど、生徒の発達の段階に配慮されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、具体例を挙げて、目指す姿が分かるよう配慮されている。 ・「読むこと」の教材では、振り返りにおいて「言葉の力」「考える力」「知識や技能」という三つの観点で自己評価ができるよう十分に配慮されている。 ・「読むこと」の単元の後に、「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の活動が設定されており、単元で設定されたテーマに沿って自分の考えがまとめられる構成となるよう配慮されている。 |
| 2 主体的な態度の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲を喚起するために、今日的課題を扱った教材を取り入れたり、各単元に選択教材を設けたりするなど配慮されている。 ・単元の目標から評価までが簡潔に示されており、表現の教材では例示の文章をもとに、意図や効果についてとらえられるよう配慮されている。 ・本編では、語句調べを促したり、読書紹介を行ったりし、資料では、問題を用意して家庭学習に取り組めるよう配慮されている。 ・読書案内で本の探し方や広げ方を示すことで、生徒が自ら幅広い読書に親しめるよう配慮されている。 |
| 3 「地域社会人」の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・自立・共生・自己実現の内容を含む教材は、各学年に配列されており、広く社会を見る目を養うために新聞記事の特徴を考える学習を扱っている。 |
| 4 印刷・造本 | <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色遣いやレイアウトなどが配慮されている。 ・巻末には、各学年の語句や語彙の学習や常用漢字表、「今に伝わる注意したい古語」等が掲載されており、語彙力の定着が図られるよう配慮されている。 |
| 5 総 評 | <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の領域では、三つの観点での自己評価がある学習過程が位置付けられており、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう十分に配慮されている。 ・学習意欲の喚起や学び方の位置付け等において、主体的な態度の育成が図られるよう配慮されている。 ・「地域社会人」の育成が図られる教材等が配列されており、また、印刷・造本においても配慮されている。 |

